

令和3（2021）年度 部局マネジメント方針

子どもすこやか部長

かわにし ひろし
川西 博士



私の決意（仕事に対する基本姿勢及び部局の取り組み方針）

子どもすこやか部では、東大阪市第3次総合計画の重点施策である「若者・子育て世代に選ばれるまちづくり」の推進と第2期東大阪市子ども・子育て支援事業計画に掲げている、「子育ての喜びが実感でき、すべての子どもがすこやかに成長し、生きる力や夢を育むことができる社会を実現する」ため、より良い子育て環境づくりに注力してまいります。

まず児童虐待の対応については、昨年4月に各福祉事務所の家庭児童相談員を本庁舎7階に集約し子ども見守り相談センターを立ち上げ、この間、体制強化に取り組んできたところです。今後も人材育成をはじめとした機能強化を進め、児童虐待について迅速で丁寧な対応を徹底することで全ての子どもが安全安心ですこやかに育つことのできるよう取り組んでまいります。

次に子育て支援施設の整備については、現在、石切保育所跡地に（仮称）石切子育て支援センターの整備を進めているところです。来年度中に完成させ、市北東部地域の子育て支援拠点として子育て中の親子が気軽に集える施設をめざしてまいります。

また現在、保育システムの再構築を進めているところですが、再構築に当たっては新たにAIによる入所選考機能を導入することで迅速で正確な入所事務を実現し、併せて入所事務の省力化を生かした市民サービスの向上をめざしてまいります。また同時に保育所入所選考基準の見直しも進めており、市民の方にとってわかりやすく、納得性の高い基準になるよう取り組んでまいります。

最後に「すべての子どもたちが夢と希望を持って成長できるまち」をめざした「東大阪市子どもの未来応援プラン」が令和4年度末で終了することに伴い、今年度からその後継計画となる「第2次東大阪市子どもの未来応援プラン」の策定を進めます。SDGsの17の目標のうち第1目標に掲げられている「あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ」をふまえ、最も貧困の影響を受けやすい子どもたちの未来のために、新型コロナウイルス感染症が感染拡大する中、アンケート調査を実施することで、非正規雇用が多いといわれるひとり親家庭の厳しい生活実態など子どもの置かれている状況を把握し適切な支援につなげていけるよう取り組んでまいります。

これからも引き続き子育て支援の充実を進め、子育て世帯に選ばれ住み続けたいまちとなるよう着実に取り組みを進めていきます。